

関節リウマチのリハビリテーション

関節リウマチの治療は4本柱と言われていて、基礎療法、薬物療法、手術療法に加えリハビリテーションがあります。関節リウマチも他の疾患と同様、早期診断・早期治療が求められるようになりました。そのため、リハビリテーションにおいても早期の関節リウマチ患者さんに対するリハビリテーションと、関節リウマチになって長期間経過した患者さんのリハビリテーションを分けて考えるようになっていきます。

早期の患者さんには関節リウマチの教育や基本的な生活方法の見直し(関節保護)などを中心とした予防を考えたリハビリテーションを提供しています。逆に長期罹患の患者さんは関節に機能障害の見られる場合が多く、関節機能を維持・向上させるための関節可動域訓練や筋力増強訓練、ストレッチなどを実施します。

治療に関しては医師、看護師、薬剤師を含め、理学療法士(PT)、作業療法士(OT)などチームとして関わっていきます。様々な職種から情報を共有し、患者さんが退院後の生活を送りやすくなるように携わっていきます。目標達成に向けた治療(Treat to Target:T2T)では「関節リウマチの主要な治療ゴールは、症状のコントロール、関節破壊などの構造的変化の抑制、身体機能の正常化、社会活動への参加を通じて、患者の長期的QOLを最大限まで改善することである」と言われています。薬物療法の進歩によって、寛解が達成可能となっているため、健康な人と同じように社会生活が送れるように、患者さんの想いや希望に添えるリハビリテーションを提供していきます。

ご自宅でできる変形予防や転倒予防の練習方法や関節保護の紹介は当院ホームページのトップページ右上にあるYouTubeチャンネルをクリックしてください。さまざまなコンテンツを無料で閲覧することができます。